

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 4 部門第 1 区分  
【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2004-183215 (P2004-183215A)  
【公開日】平成 16 年 7 月 2 日 (2004.7.2)  
【年通号数】公開・登録公報 2004-025  
【出願番号】特願 2002-347751 (P2002-347751)  
【国際特許分類第 7 版】

E 0 1 C 13/00

E 0 1 C 7/35

【F I】

E 0 1 C 13/00 A

E 0 1 C 7/35

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 1 日 (2004.9.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

土壤基盤の上に平均長さ 0.1 ~ 1.5 mm の碎石とバインダーとして液状硬化性樹脂とからなる補強層を設けてなる補強グラウンド。

【請求項 2】

液状熱硬化性樹脂がポリオールとポリイソシアネートとから得られるイソシアネート基含有ウレタンプレポリマーである請求項 1 記載の補強グラウンド。

【請求項 3】

液状熱硬化性樹脂が(メタ)アクリル変性ポリエステル樹脂である請求項 1 又は 2 記載の補強グラウンド。

【請求項 4】

土壤基盤の上に平均長さ 0.1 ~ 1.5 mm の碎石とバインダーとして液状硬化性樹脂とからなる補強層を設け、更にその上に樹脂層又は土層を積層してなる補強グラウンド。

【請求項 5】

樹脂層が樹脂シート又は樹脂マットである請求項 4 記載の補強グラウンド。

【請求項 6】

樹脂層が人工芝である請求項 4 又は 5 記載の補強グラウンド。

【請求項 7】

碎石に対する液状硬化性樹脂の量が 1 ~ 30 重量%である請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の補強グラウンド。

【請求項 8】

補強層の厚さが 1 ~ 200 mm である請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の補強グラウンド。

【請求項 9】

補強層が圧縮強度 1 MPa 以上である請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の補強グラウンド。

【請求項 10】

ポリオールがポリエーテルポリオールで、ポリイソシアネートがポリメリック MDI で

ある請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載の補強グラウンド。

【請求項 11】

ポリエーテルポリオールが数平均分子量 200 ~ 10000 である請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の補強グラウンド。